

この事例集の使い方

●この事例集の使い方

本事例集は、取組み編、事例編、参考資料の3部により構成されています。

活用にあたっては、最初から通して読まなくとも、どこから開いても活用していただけるよう、巻頭だけでなく、事例編の最初にも「もくじ」を用意していますので、必要に応じて参考となるところをお読みください。

取組み編

文部科学省の「放課後子ども教室」（大阪府においては「おおさか元気広場」と呼ぶ）と、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」（放課後児童クラブ）を連携して実施するのが「放課後子どもプラン」です。

本編では、放課後子どもプランの仕組みや府の取組みの現状、おおさか元気広場と放課後児童クラブとの比較、両事業の連携の推進のため大阪府が設置している「放課後子どもプラン推進委員会」で話し合われた内容などをまとめています。

事例編

府内の特色ある取組みである19の事例について、4つの観点で整理し、紹介しています。

- ・元気広場と放課後児童クラブとの連携（6事例）
- ・支援の必要な児童の参加（5事例）
- ・特色ある体験活動（5事例）
- ・放課後の学習支援（3事例）

参考資料

次の3つの情報を掲載しています。必要に応じてご活用ください。

- (1)放課後子どもプラン推進委員会から、各市町村で活動する広場・クラブへ向けて発信したメッセージチラシ
- (2)市町村で実際に活用されている、子どもやボランティアの登録用紙や児童の参加カードの例
- (3)府内各市町村のおおさか元気広場担当課と放課後児童クラブ担当課の連絡先・ホームページアドレスの一覧

●この事例集のねらい

この事例集は、大阪府放課後子どもプラン推進委員会等により訪問取材を行った、放課後等の子どもの居場所づくりの特色ある取組みについて、活動の概要やポイント、子どもや支援者の声などを紹介することにより、放課後子ども教室や放課後児童クラブの活動の充実をめざすすべての方々の参考としていただくため、多くの関係者の皆さまの協力を得て作成したものです。

本事例集に収められた事例には、よりよい活動とするための様々な工夫が示されています。子どもが夢中になれる体験活動や学習支援の工夫、支援にあたる様々な人・団体との連携、おおさか元気広場と放課後児童クラブが互いにつながり合うための努力、誰もが活動に参加できるための配慮など、各事例には活動にたずさわる地域の方々の思いがこめられています。

子どもの安全で安心な居場所づくりを支える大人たちの熱い思いがある限り、それぞれの地域に根ざした優れた取組みが、これからも数多く展開されることでしょう。そのような取組みに学びながら、この事例集をよりよいものにしていきたいと考えています。

